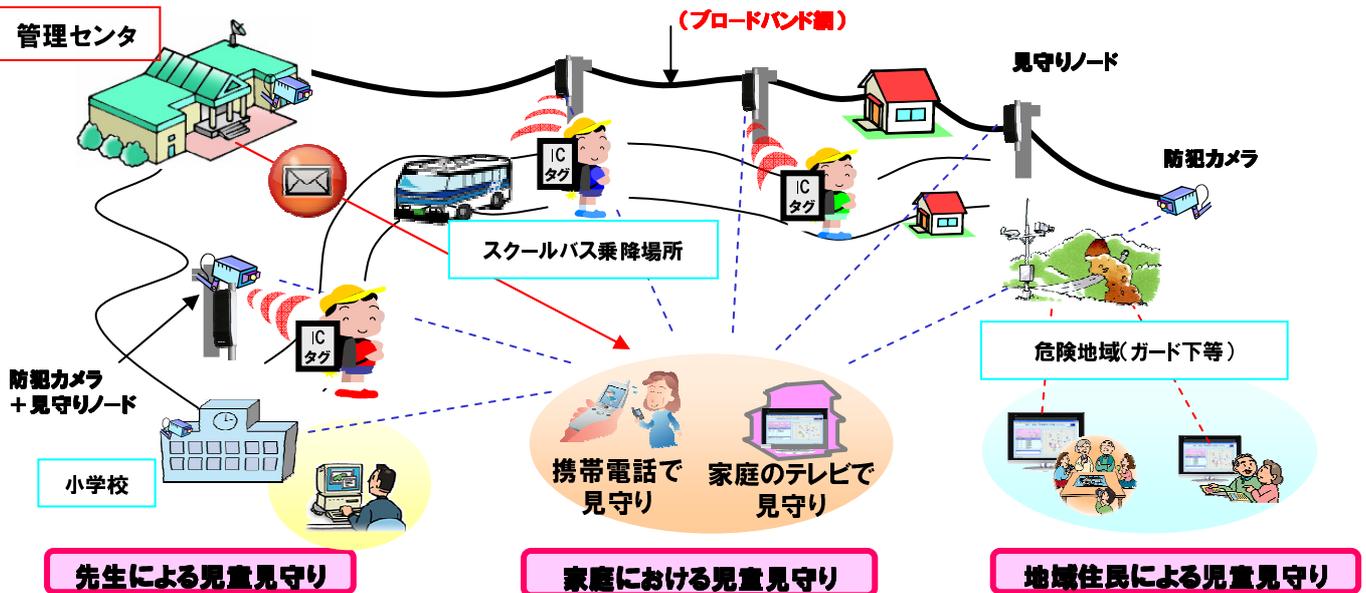


児童見守りシステム

サービス概要

児童のランドセルにアクティブ型ICタグ(※1)を取り付け、学校の玄関や校門、通学路等の施設に見守りノードを設置することで、児童を見守ります。

児童見守りシステムサービスイメージ



※1:アクティブ型ICタグ

自ら電波を発信するICタグ。ICタグ読取装置付近を通過時に自動的に情報を伝達する運用に適した方式。
(ICタグ読取装置が発する電波を受けて動作するものをパッシブ型ICタグという。ICタグ読取装置にかざして使用する場合が多い。)

本サービスの特長

1. 安心・安全

- 児童の登下校情報のほかに、通学路の通過状況も把握、管理することが出来ます。保護者は児童の大きな所在を把握出来るので、帰宅時間の予想などが可能になります。
- 防犯カメラ(※2)との連動による静止画像配信で、児童の登下校の様子や周囲の状況を確認可能です。
- 事件、事故、災害情報の一斉同報配信により、地域住民間で安心安全情報の共有が可能です。

2. 簡単

- アクティブ型ICタグの利用により、児童は特別な操作をする必要がありません。
- 登下校状況は保護者の携帯にメールで通知されるため、簡単に状況を把握することが出来ます。
- 専用サイトにアクセスをすると、登下校状況・静止画像などを簡単に確認できます。(携帯・PC)

3. 便利

- 保護者から学校への、欠席通知が可能です。(携帯・PC)
- 登下校情報から児童の出席簿を作成することが可能です。(教職員機能)

※2:防犯カメラはオプション対応となります。